



佐賀駐屯地開設抗議集会（2025年6月21日）



与那国島で事故を起こした陸上自衛隊オスプレイ（2024年10月27日）



オスプレイいらない東京大集会（2025年11月23日）



沖縄県名護市の海岸に墜落したオスプレイ（2016年12月13日）

（呼びかけ団体） ● 安保破棄中央実行委員会 電話：03-3264-4764 / ● 安保廃棄・くらしと民主主義を守る  
沖縄県統一行動連絡会議 電話：098-988-8172 / ● オスプレイ反対東京連絡会 電話：03-5927-1486 (安保破棄東京実行委員会) / ● 安保廃棄千葉県実行委員会 電話：043-441-5093 / ● 安保廃棄神奈川県統一促進会議 電話：045-201-3684 / ● オスプレイ配備反対佐賀県連絡会 電話：0952-25-5022 (佐賀県労連)

# オスプレイの飛行中止と配備撤回を求める署名

衆議院議長 様

参議院議長 様

## 【請願趣旨】

2012年から沖縄の普天間基地に米海兵隊のMV22 オスプレイ 24機が配備され、全国で日米共同訓練に参加しています。2016年には沖縄県名護市で墜落事故が起き、翌2017年にはオーストラリアで訓練中に墜落して3人が死亡しました。

東京の米軍横田基地には2018年から空軍の特殊作戦用のCV22 オスプレイが配備され、現在6機が常駐しています。2023年11月には横田基地所属のオスプレイが鹿児島県の屋久島沖で墜落し、乗組員8人全員が死亡しました。横田基地のオスプレイは各地で危険な訓練を行なうとともに、民間空港に緊急着陸を繰り返しています。

2020年から千葉県木更津市の自衛隊基地に陸上自衛隊のオスプレイ17機が「暫定配備」されました(その後、佐賀駐屯地に移駐)。自衛隊のオスプレイは各地で訓練飛行などを行ない、2024年10月には日米統合演習に参加し、沖縄の与那国島で接触事故を起こすなどしています。

2025年7月には、開設された陸上自衛隊佐賀駐屯地に木更津からオスプレイが移駐され、危険な夜間飛行などで住民被害を広げながら「日本版海兵隊」の水陸機動団の輸送など九州全域で飛行しています。

木更津と厚木では、少なくとも2030年まで米軍オスプレイの定期整備を行うとされています。

オスプレイは開発段階から重大事故を繰り返し、これまで65人の命を奪っています。しかし、事故原因が明らかにされないまま飛行が再開されています。

このような「構造的欠陥機」を米国以外で購入しているのは世界で日本だけです。米軍は、相次ぐ事故で調達数が伸びなかつたことやコスト高により、2028年度で生産を終了するとしています。

危険なオスプレイは日本のどこにもいりません。私たちは日本政府に下記事項の実現を強く求めます。

## 【請願項目】

- オスプレイの飛行中止とオスプレイ参加の日米共同訓練の中止
- 沖縄・普天間基地へのオスプレイ配備の撤回
- 千葉・木更津および神奈川・厚木でのオスプレイの整備中止
- 東京・横田基地へのCV22 オスプレイの配備撤回
- 佐賀駐屯地への陸上自衛隊オスプレイ配備の撤回

氏 名	住 所

取り扱い団体